

くろもりじんじゃ ふ しん こ もんじょ
黒森神社普請古文書

- ◇ 指定日 平成5年12月22日
- ◇ 所在地 宮町(市立図書館)
- ◇ 所有者 個人

『黒森山御普請始終之留』は、現在の黒森神社本殿を再建した際の記録です。嘉永2年(1849年)5月、本殿および^{せつしゃ}摂社・^{まつしゃ}末社・内外の柵・橋・鳥居・^{しょうろうどう}鐘楼堂・^{ごまどう}護摩堂にいたるまで、新規造立または修復するとの建議が宮古代官より出されました。

造営に際しては、宮古代官所が主体となり、江戸の廻船問屋や宮古・^{かいせんどんや}鯉ヶ崎の漁業関係者、宮古代官所管内の村々から277両もの金品が寄進されたことが分かります。

嘉永3年(1850年)6月に完成して^{せんざしき}遷座式が行われ、盛岡藩主の御用人が代参して金品を奉納しています。

奉加帳の演説に、黒森大権現は奇特の霊地であり、海上安全・浦方繁昌^{うらかたはんじょう}の奇特にかなうものであると記され、厚く信仰を集めていたことがうかがえます。



嘉永二年
 黒森山御普請始終之留
 差配役
 酉五月 土肥多左衛門